

森 麻季
Mori Maki

音の美術館

～雪の白に明日を描く～

「日本の美」である十日町原風景と名画に共鳴する、
世界的ソプラノ森麻季の歌声。
大型スクリーンに映し出される美しい十日町の風景と
絵画の傑作を背景に森麻季が美の世界を歌い上げます。
今、ここでしか生まれない感動の空間をあなたへ…

曲目

花は咲く (菅野よう子) / からたちの花 (山田耕筰) / 赤とんぼ (山田耕筰)
ブッチーニ：歌劇「ジャンニ・スキッキ」より
『私の愛しいお父さま』
ブッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」より
『私が街を歩けば (ムゼッタのワルツ)』 ほか
※都合により曲目が変更になる場合があります

ピアノ：山岸茂人

2020.
2/15(土)

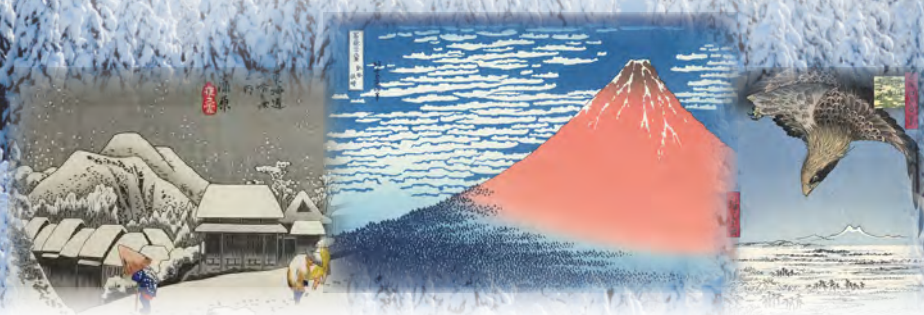
13:30 開演 (13:00 開場)

越後妻有文化ホール「段十ろう」
(十日町市本町1丁目上 508-2)

雪まつり特別価格 全席指定

(税込) 中学生以上 **3,000 円**
小学生半額 (大人1人につき小学生1人まで)

*小学生未満のお子様は入場をご遠慮ください



ソプラノ：森 麻季
©Yuji Hori

会場アクセス

※当日は「段十ろう」駐車場が降雪および雪まつり仕様のため、駐車可能台数が少なくなります。なるべく公共の交通機関をご利用いただくか、十日町雪まつりHPから臨時駐車場をご確認ください。



プレイガイド

*十日町雪まつり実行委員会事務局 **電話予約・窓口販売**

十日町市旭町 251-17 (十日町市総合観光案内所内) TEL:025-757-3100
平日 8:30~17:15 (ただし、1月11日以降は土日祝日も受付)

*越後妻有文化ホール「段十ろう」 **窓口販売**

十日町市本町1丁目上 508-2 TEL:025-757-5011 平日 8:30~17:15

*十日町市総合観光案内所 **窓口販売**

十日町市旭町 251-17 (十日町駅西口) TEL:025-750-1277 9:00~17:15

*イープラス



©Yuji Hori

森 麻季
Mori Maki
ソプラノ

東京藝術大学、同大学院独唱専攻、文化庁オペラ研修所修了。ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ・オペラ・アカデミーに留学し、ブラジルのドミンゴ・世界オペラコンクール「オペラリア」等多数の国内外のコンクールに上位入賞を果たす。ワシントン・ナショナル・オペラ《後宮からの逃走》でアメリカ・デビュー以来、ワシントン・ナショナル・オペラとロサンゼルス・オペラにおいて、《リゴレット》《バルシファル》《ホフマン物語》《こゝろ》《ウェルテル》でドミンゴ、フォン・シュターデ、アラニーヤ、ケント・ナガノ、ジュン・アンダーソン、ブレンデル、オブラストワ等と共演。ルイーズ指揮ドレスデン国立歌劇場《ばらの騎士》、エディンバラ音楽祭《リナルド》、ノセダ指揮トリノ王立歌劇場《ラ・ボエーム》で、フリットリやアルヴァレスと共演し、国際的な評価を得る。2015年兵庫県立芸術文化センター開館10周年記念オペラ《椿姫》のヴィオレッタは、連日スタンディング・オベーションとなり、2017年モンテヴェルディ生誕450年を記念した鈴木優人指揮BCJ歌劇《ボッペアの戴冠》のタイトルロールで好評を博す。コンサートではアシュケナージ、デミルカーノフ、インバル、小澤征爾、チョン・ミョンフン、パーヴォ・ヤルヴィ、ハーディング等の著名指揮者やNHK交響楽団、ウィーン・フィル、ベルリン・フィルのメンバー、フランクフルト放響、サンクトペテルブルグ・フィル等の内外の主要オーケストラ、ドレスデン聖十字架教会合唱団などと共演し成功を収める。古典から現代まで幅広いレパートリーを誇り、コロラトゥーラの類稀なる技術、透明感のある美声と深い音楽性は各方面から絶賛され、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」メインテーマやNHK『明日へ』東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」を歌い、文部科学省主催「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」公式イベントWFSC（宮本亜門演出）に出演するなど、日本を代表するオペラ歌手として常に注目をあびる。CDデビュー20周年記念アルバム「至福の時～歌の翼に」をリリース（エイベックス・クラシックス）。ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞、ホテルオークラ音楽賞を受賞。森麻季公式ホームページ https://twitter.com/makimori_sop



©横井 明彦

山岸 茂人
Yamagishi Shigeto
ピアノ

1944年東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、1997年同大学大学院（音楽学専攻）修了。在学中に安宅賞受賞。2000年よりライナー・ホフマン教授によるドイツ歌曲講習会を度々受講する。ピアノを川口恒子、渡辺健二、高出絃子の諸氏に、また、音楽学を船山隆、本田脩の各氏に師事。声楽の伴奏者としては演奏家から常に深く信頼され、これまで著名な歌手と数多く共演を重ねる。



©新津保 建秀

浦久 俊彦
Urahisa Toshihiko
ナビゲーター

文筆家、文化芸術プロデューサー。サラマンカホール音楽監督、代官山未来音楽塾塾頭、一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、三島市文化アドバイザー。パリで音楽学、歴史社会学、哲学、美学を学び、フランスを拠点に、音楽、アートの分野だけでなく、M.O.F.（フランス最優秀職人）の支援など、幅広く文化芸術プロデューサーとして活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、現在、浦久俊彦事務所代表。多彩なアーティストのオリジナル企画を手がけ、文化芸術ナビゲーターとして全国で活躍するなど、一流アーティストからの信頼も厚い。また、日本とヨーロッパの文化交流活動、音楽をよりよい社会創りに活かす人材の育成、地域の音楽文化の振興など、その活動は多岐にわたる。著書に『フランス・リストはなぜ女たちを失神させたのか』、『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』（以上、新潮社）、『138億年の音楽史』（講談社）などがある。浦久俊彦公式ホームページ <http://www.urahisa.com>



愛しみ、楽しみ、癒される自由時間。
お帰りなさい、美しきふるさとへ。